

各 位

2025年2月5日
株式会社インプレス

Teams 活用の現場で本当に役立つテクニックを厳選！
『Microsoft Teams 踏み込み活用術 増強改訂版』を2月5日（水）に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、ビジネスコミュニケーションツール「Microsoft Teams」（マイクロソフト・チームズ）を、現在のビジネス現場で使いこなすためのノウハウや、その前提知識を解説した書籍『Microsoft Teams 踏み込み活用術 増強改訂版（できるビジネス）』を2025年2月5日（水）に発売いたします。



■「新しいTeams」に全面对応。Teamsの仕組みの理解を重視し長く役立つ内容に

ビジネスコミュニケーションツールであるMicrosoft Teams（以下、Teams）は、2020年以降の急速なテレワークの普及とともに多くの企業に導入されました。それから約5年となる現在においては、ハイブリッドワークの中で多くのビジネスパーソンが日常的に使いこなすツールとなっています。

本書の旧版である『Microsoft Teams 踏み込み活用術 達人が教える現場の実践ワザ（できるビジネス）』は、パンデミックの影響が残り、Teamsの利用においても迷いが生じることが多かった2021年7月に刊行されました。「Teamsをより便利に使える」「Teamsのさらなる活用法が分かる」といった好評をいただき、第5刷の重版出来となりました。一方、Teamsは旧版の刊行以降、2024年には新しいデスクトップアプリ（新しいTeams）に切り替わるなど、さまざまなアップデートが行われています。また、ハイブリッドワークが広がる中で、現在のビジネスシーンにおける新たな悩みや課題も出てきています。

改訂版となる本書では、新機能やアップデートされた機能を追加して解説するだけでなく、Teamsを業務でより上手に使うための知識や考え方を整理することを重視し、現在のビジネスシーンに合わせた内容に全面的に見直しました。特に、Teamsの活用の土台になる仕組みや、他のツールとの関連も踏まえた解説を含めることで、今後Teamsの機能がアップデートしても、長く参考にできる内容になっています。

■Microsoft 365の導入支援のプロが本当に役立つテクニックを厳選

本書では「チームとチャンネルの使い分け」「チャットでのファイル共有の注意点」「オンライン会議をスムーズに進めるテクニック」など、Teamsをより使いやすくする機能や設定、利用するうえで理解しておきたい仕組みを中心に解説しています。基本操作に終始するのではなく、Teamsを普段から利用しているユーザーが、Teamsを自身の業務が進めやすい状態に整え、生産性をアップさせるテクニックを紹介することを重視しました。さらに、IT管理者が確認できる設定にも触れているので、これからTeamsの導入が進む現場や、運用の見直しを進める現場でも役立ちます。

■本書に収録しているワザの例

- ・迷ったらプライベートチームを作成する
- ・共有チャンネルでチームの乱立を防ぐ
- ・メンションの使い分けがやりとり効率化のカギ
- ・共有したファイルやリンクを一覧表示で探す
- ・Copilotでチャットメッセージを書き直す
- ・Copilotで会議の内容を要約する
- ・会議終了時には開催者が会議を終了する
- ・重要度に応じて通知の表示形式を見直す

■本書は以下のような方におすすめです

- ・普段から使っているTeamsを、より効率的に使いたい方
- ・通知やメンション、チームの管理に悩んでいる方
- ・Copilotと連携した機能や、最新の使いこなしを知りたい方
- ・各機能の制限の有無を判断するIT部門の管理者

■紙面イメージ

ゲストを追加するときは新しいチームを作成する


ゲスト/アクセス許可/他のアカウントと組織でのアクティビティ

ゲスト専用のチームを新たに作成する

社内のユーザーとのコミュニケーションに、Teamsを活用する企業も増えていきます。しかし、社外に公開すべきではない情報が共有される危険性を心配する人も少なくありません。

社外のユーザーをゲストとして招待する際には、現在社内で利用しているチームに追加するのではなく、専用の新しいチームを作成すると安心です。これまで社内のメンバーで利用してきたチームでは、どのような情報が保存されているかをメンバー全員が把握しきれていないことがあります。**必要な情報だけを新しいチームで共有することで、安心してゲストとも共有できます。**

また、ゲストが参加しているチームでは、チャンネルの上部にあるアイコンにマウスポインターを合わせると、チャンネルカードにゲストの人数が表示されます。新しく参加したチームなどでは、投稿を行う前にこの表示を確認し、共有してもよい情報かどうかを判断しましょう。



チャンネルの上部にあるチームのアイコンにマウスポインターを合わせると、チャンネルカードが表示される。ゲストがいる場合は「[人のゲスト]」と表示される。


ゲストをチームに招待する

社外のユーザーをゲストとしてチームに招待するには、メンバーの追加画面(P.25)でそのユーザーのメールアドレスを入力します。その後、招待されたユーザーには、チームに参加するためのリンクが記載されたメールが届き、アクセスするとチームに参加できます。

ゲストとして招待されたユーザーは、自社のMicrosoft 365アカウントや個人のMicrosoftアカウントのほか、招待元の設定により、ワンタイムパスワード認証を使ってチームに参加することができます。また、どのようなユーザーを招待できるかは、IT部門によって制限されている場合があります。

ゲストのアクセス許可を設定する


ゲストをチームに招待する場合、チームの所有者は【ゲストのアクセス許可】を設定し、ゲストがチーム内でどのような操作を行えるかを制御できます。設定できる項目には、チャンネルの作成・更新・削除の権限があります。参加しているゲストが業務上で相応の権限を委譲されているパートナーなどの場合は、これらの権限を許可してもよいでしょう。



P.19の手順で表示できるチームの管理画面で「設定」→「ゲストのアクセス許可」を順にクリックすると設定できる。

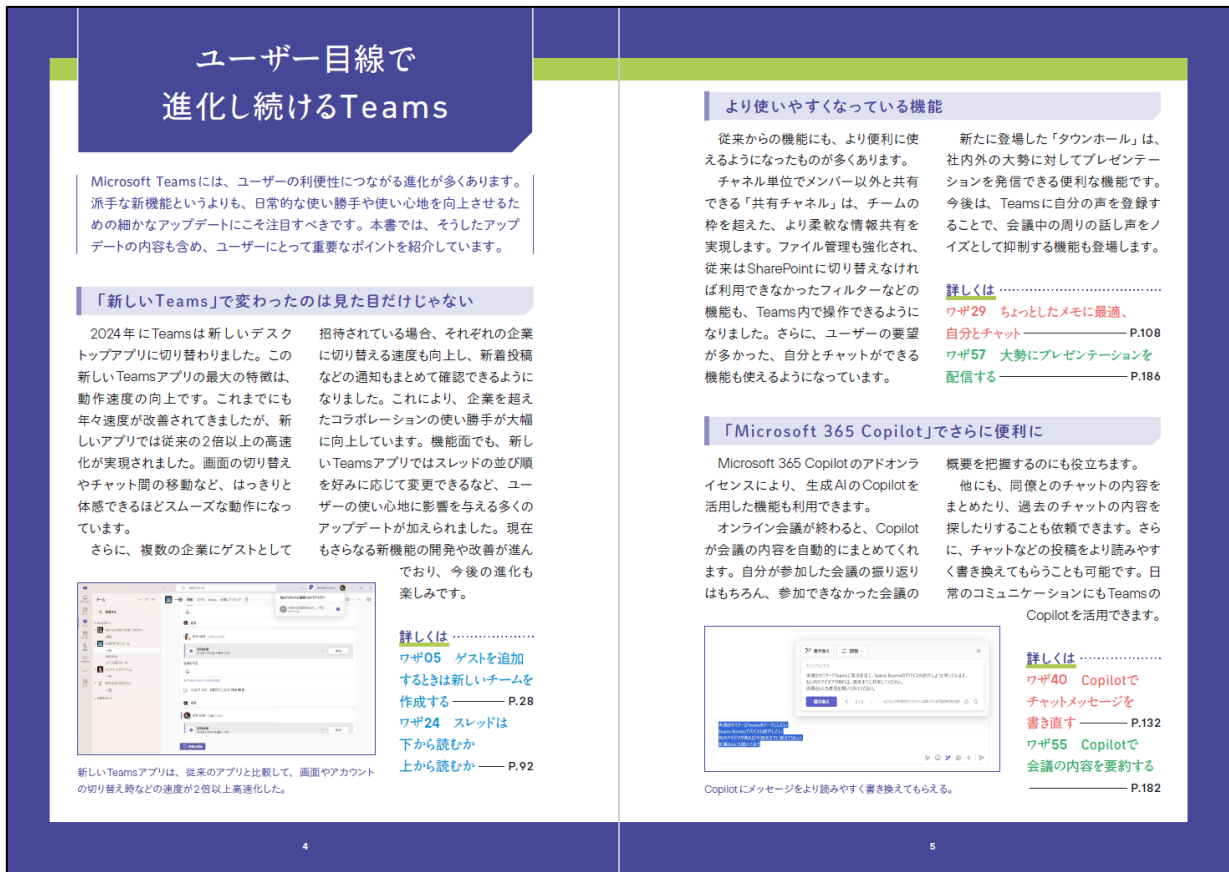
ゲストとして招待された会社に切り替える

自分が他の会社からTeamsにゲストとして招待された場合、その会社と自社のTeamsを行き来するには、メニューから切り替える必要があります。ただし、アクティビティの通知件数は切り替えずとも確認できます。ゲストとして招待されたときには、時々チェックしておくようにしましょう。



「他のアカウントと組織でのアクティビティ」をクリックすると、アクティビティの通知件数を確認できる。

Teamsのノウハウを、読み物と図版、操作手順を交えて解説しています。



本書の冒頭で、Teamsが進化したポイントについて解説しています。

■購入者限定特典、電子書籍（PDF版）が付いてくる

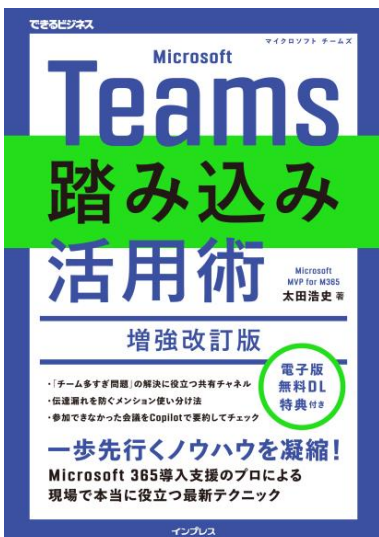
本書をご購入いただいた方には、電子書籍（PDF版）のダウンロード特典が付いてきます。同じ本をタブレットなどでも読みたい場合にご活用いただけます。

※ダウンロードにはClub Impressへの会員登録（無料）が必要です。

■本書の構成

- ・第1章 チームとチャネルの運用
- ・第2章 チャットの使いどころ
- ・第3章 オンライン会議の円滑化
- ・第4章 アプリと個人の設定

■書誌情報



書名：Microsoft Teams踏み込み活用術 増強改訂版（できるビジネス）

著者：太田浩史

発売日：2025年2月5日（水）

ページ数：224ページ

サイズ：A5正寸

定価：1,980円（本体1,800円＋税10%）

電子版価格：1,980円（本体1,800円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-02087-5

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295020877>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1124101100>

◇書影（高解像度）ダウンロード：<https://dekiru.net/press/502087.jpg>

■ 著者プロフィール

太田 浩史（おおた ひろふみ）

株式会社内田洋行所属。1983年生まれ、秋田県出身。近ごろはサイクリングにハマリ、週末に数十キロを走る。2010年に自社のMicrosoft 365（当時BPOS）導入を担当したことをきっかけに、多くの企業に対してMicrosoft 365導入や活用の支援をはじめ。Microsoft 365に関わるIT技術者として、社内の導入や活用の担当者として、そしてひとりのユーザーとして、さまざまな立場の経験から得られた等身大のナレッジを、各種イベントでの登壇、ブログ、ソーシャルメディア、その他IT系メディアサイトなどを通じて発信している。2013年からMicrosoftにより個人に贈られる「Microsoft MVP Award」を連続受賞中。日本最大のMicrosoft 365 ユーザーグループ「Japan Microsoft 365 Users Group」の共同運営メンバーでもある。著書に『Power Automateではじめる業務の完全自動化（できるエキスパート）』『できるポケット 必修アプリ超活用Microsoft Teams全事典 改訂版』（インプレス）。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。